

報告事項ク

平成23年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について

平成23年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成23年11月18日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成23年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について

文化財課

1 被表彰者

表彰分野	氏名	年齢	主要経歴
文化財保護	ながいし はじめ 長石 肇	79歳	元鳥取県立博物館長 元鳥取県文化財保護審議会会長

2 被表彰者の功績概要

昭和62年から平成4年まで鳥取県立博物館長に就任し、教育、学術及び文化の発展と地域文化の向上に尽力した。

また平成10年から平成22年まで鳥取県文化財保護審議会委員に就任し、文化財の保護と保護思想の普及に尽力。平成12年からは審議会副会長として、平成16年からは審議会会長として、審議会全体の運営にも携わり、鳥取県の文化財保護行政に大きく貢献した。

3 表彰式

(1) 期日 平成23年11月17日(木)

(2) 会場 文部科学省 3階講堂

4 表彰の概要

(1) 趣旨

芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等、地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対し、その功績をたたえるもの。

(2) 表彰者

文部科学大臣

【参考】

長石氏以外の鳥取県推薦の被表彰者

表彰分野	氏名	年齢	主要経歴
芸術文化 (文化観光局推薦)	ふくい さだこ 福井 貞子	79歳	染織家 倉吉絣保存会顧問 鳥取県無形文化財保持者

被表彰者の略歴及び主な功績

文化財保護分野：長 石 肇（ながいし はじめ）

昭和7年3月に生まれる。八頭郡智頭町出身。昭和29年に鳥取県に教員採用され、以後県立高等学校の教諭を経て、昭和44年から鳥取県教育委員会事務局に勤務。昭和59年から教育委員会事務局次長。

昭和62年4月から平成4年3月まで鳥取県立博物館長に就任し、教育、学術及び文化の発展と地域文化の向上に尽力し、県民の文化財への興味及びその保護についての理解の醸成に大きく貢献した。

平成10年から鳥取県文化財保護審議会委員に就任し、平成22年までの12年間にわたり、文化財の保護と保護思想の普及に尽力。平成12年からは審議会副会長として、平成16年からは審議会会長として、審議会全体の運営にも携わり、鳥取県の文化財保護行政に大きく貢献した。

これらの功績が認められ、平成19年には鳥取県教育委員会の教育委員会表彰を受けている。

芸術文化分野：福 井 貞 子（ふくい さだこ）

昭和7年7月に東伯郡赤碓町（現琴浦町）に生まれる。

昭和34年から大姑に師事して倉吉絣に取り組む。地元に残る絣資料の収集を行うとともに、絣を中心に地域史、女性史にわたる多面的な研究を行い、私設の倉吉絣資料館や多数の書籍等で研究成果を発信した。

倉吉絣の復元に取り組むとともに、昭和46年の倉吉絣保存会の設立に参画し、平成14年から18年まで会長を務めるなど、後進の指導にあたっている。現在、倉吉絣保存会顧問。

また、作家としても伝統的な絣と創作的な現代表現としての絣を作り出し、その作品は高い評価を受けている。

こうした功績から、平成17年には鳥取県無形文化財保持者認定を、平成19年には鳥取県文化功労賞知事表彰を受けている。